

## 人工芝のサッカー場について

### 問

伊予市には天然芝のサッカー場は一面あるが、芝を保護するために年間の使用回数を制限され、思うように使用できていない。そこで、もう一面双海町に人工芝のサッカー場を造れないか。地域活性化には必要なのでは。

### 答

中村市長

サッカーの普及は、確かに双海町に限らず全国的に盛んに実施されていることは十分理解をしている。

地域の子どもたちが、芝のグラウンドでサッカーをする夢をかなえたいという思いは私も同じである。

しかし双海町のグラウンドに

山崎 正樹 議員



潮風みどりの広場

人口芝のサッカー場を整備することは、現時点においては、難しいと言わざるをえない。

その理由としては、このグラウンドはサッカーだけでなく、ソフトボール、体育祭等、多種多様な利用をするための多目的グラウンドとして、提供しているものであり、サッカーだけに特化した整備を行うことは、今後の利用等において支障を来たすものと考えている。

一カ所を人工芝にするためには、一億六千万円の費用が必要であり、総合計画にも整備方針が示されていないことから、現在の伊予市の財政事情において直ちに整備することとは難しく、現状での利用ということでは、御理解いただきたい。

## 放任園について

### 問

一・伊予市全体での放任園の状況は。  
二・伐採事業の補助率を上げる考えはないか。  
三・JAなどから放任園対策の要望はないか。

### 答

中村市長

一・市単独補助事業により、従来の放任園の伐採事業に加え、薬剤防除事業を実施するなど、被害防止対策を講じてきた。

しかし、近隣市町の害虫発生状況を受け、昨年度放任園地への調査件数を増やしたところ、新たに多数の園地で害虫の発生が確認され、被害拡大が懸念される事態となっており、その多くがJA組合員外の園地であり、この対策が今後の課題となっている。

### 答

産業建設部長

一・この対策として、害虫対策推進協議会において、発生園地マップを作成し、組合員外の生産者に対して当該地区

での説明会及び電話連絡により、害虫被害の実態と伐採並びに薬剤防除の徹底を指導しているところである。

これにより、二十三園地で伐採、防除を実施してもらうことができたが、残る五園地の対策が未定となっており、引き続き指導、協力依頼を行っていきたいと考えている。

三・JAからの要望により、当初予算において、昨年度の実績を踏まえた事業費を計上し、放任園伐採三・五鈔、薬剤防除五十鈔を実施することにしており、さらに栽培後期の追加防除に使用する防除効果の高い薬剤を新規に補助対象とし、事業の効果的な推進を図ることにしている。

六月十七日に開催の協議会で、本年度の放任園地調査計

画を協議する予定であるが、昨年度の発生園地拡大を踏まえて、隣接する伊予地域・中山地域の園地についても調査対象とするよう提案していきたいと考えている。

この調査結果を踏まえ、防除、伐採等、追加事業の実施について検討をしていきたいと考えている。

### 答

産業経済課長

二・本市と隣の長浜地区の関係もあるため、大洲市と協議の上、今後検討する余地はあると思っています。

## その他の質問事項

・ふたみシーサイド公園の活性化について



放任園（耕作放棄地）